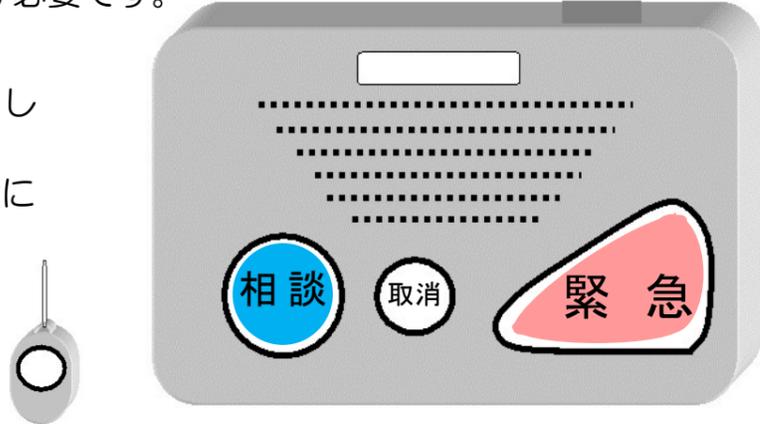


ケアマネジャーより ~つながる安心~ 緊急通報システム

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯などで、身体が虚弱または突発的に生命に危険な持病を抱えているため、緊急事態に機敏に行動することが困難な方などを対象に、火災・急病などの緊急時に消防本部へ通報できる装置を設置します。

《本体》
NTTアナログ回線及び、固定電話が必要です。

《火災センサー》
火事が発生した時に、熱・煙を感知し自動的に消防本部に通報されます。設置の際に、家の構造によっては壁に穴をあける場合があります。



《ペンダント》
自宅内であれば、別室にいてもボタンを押すと消防本部に通報できます。

状況確認などに協力して頂く近隣協力員の登録が必要です。貸与・設置は無料ですが、電話の基本料金及び通話料は自己負担です。緊急通報システムの申請や説明をご希望の方は当センターへご相談ください。

それぞれの職員の「心に残る曲(歌手名)」をご紹介します。

 京谷 保健師	あゝ人生に涙あり (里見浩太郎)	 森 社会福祉士	青空 (THE BLUE HEARTS)	 庄子 主任ケアマネ	上を向いて歩こう (坂本九)	 吉田 主任ケアマネ	I am a father (浜田省吾)
 福家 社会福祉士	セロリ (山崎まさよし)	 坂田 保健師	TOMORROW (岡本真夜)	 小倉 ケアマネジャー	扉 (GReeeeN)	 安倍 社会福祉士	童謡ふるさと (フラッド・ドミンゴ)
 海老名 ケアマネジャー	津軽平野 (吉幾三)	 中野 ケアマネジャー	中央フリーウェイ (松任谷由実)	 木村 事務員	ダイヤモンド (コブクロ)	 斉藤 事務員	栄光の架橋 (ゆず)
							truth (嵐)

Hakodate Kōseiin 高齢者あんしん相談窓口 函館市地域包括支援センターゆのかわ

ゆのかわ通信



包括ゆのかわ

第12号 令和4年2月発行 函館市地域包括支援センター ゆのかわ 発行責任者 佐々木 康寛

日頃より当センターの運営にご協力頂き、ありがとうございます。
函館市では、令和4年度からの地域包括支援センターについて、機能を拡充した多機能型のセンター『福祉拠点』の準備を進めています。
当センターにおいても、様々な関係機関の皆様と情報交換や相談を日常的に行えるスペースを確保し、気軽に立ち寄れるセンターとして活動できるよう令和4年4月に新築移転することになりました。
皆様から期待されるセンターとして、共に支え合う町づくりに向けて取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



施設長 佐々木 康寛



令和4年4月 湯川町1丁目に新築移転します!!



〒042-0932 函館市湯川町3丁目29番15号
介護老人保健施設ケンゆのかわ内
TEL 0138-36-4300
FAX 0138-57-0080

【窓口相談】 月曜日～土曜日
8:45～17:30
(日曜日は定休)

※休日・夜間は携帯電話に転送しており、お急ぎの場合などご相談をお受けしております。

担当地域 (東央部第1圏域)
川原町 ・ 深堀町 ・ 駒場町
湯川町1～3丁目 ・ 湯浜町
日吉町1～4丁目 ・ 花園町

高齢 (65歳以上) 人口: 11,112人
高齢化率: 38.4% (令和3年12月現在)

地域の集まりにも、ぜひセンターをご活用ください!
各地域にお伺いし、高齢者全般に関するお話をさせて頂いております。
日時、内容はご要望に応じてご相談させていただきます。お気軽にご連絡下さい。(※無料です)
受付担当: 京谷 庄子 森

社会福祉士
より

「還付金詐欺」にご注意を！

公的機関をかたり、「医療費や年金の還付金がある」などと言い、金銭をだまし取る「還付金詐欺」の被害が後を絶ちません。

令和3年11月には市職員を名乗り、「介護保険料の還付金がある」と言われ実際に被害にあった方が函館市、北斗市でも確認されています。

「還付金詐欺」の手口

① 公的機関を名乗り信用させる

市役所や社会保険事務所の職員を装って、電話をかけてきます。「医療費や保険料、税金が還付されます」などと言い、払いすぎたお金が返還されると思わせます。

② ATMへ言葉巧みに誘導される

「以前、通知を送っているが、手続きがされていない」「特別に銀行のATMで手続きをする」などと言って携帯電話を持ってATMに行くよう誘導されます。

③ 犯人の口座へ送金させられる

ATMの前から電話をすると、言葉巧みにATMを操作させられ、還付金を受け取るつもりが、本人が気づかないうちに、犯人の口座にお金を振り込んでしまいます。

還付金詐欺の防止

- ATMでは還付金を受け取れないことを認識しておく。
- 「還付金があるのでATMへ」と言われたら、家族、身近な人警察に相談する。
- ATM利用限度額を低く設定しておく。

還付金詐欺の相談窓口

- 函館市消費生活センター
☎83-7441
- 警察相談ダイヤル
☎51-9110
#9110（短縮）

心配なこと
気になることなどが
ございましたら
当センターにも
ご相談下さい。

保健師
より

「介護疲れ」にならないために

病気やケガをきっかけに、突然家族の介護が必要になる事があります。介護をするという事は、経験の有無に関わらず、身体的、精神的に負担がかかります。

一生懸命がんばりすぎると、自分の事が後回しになり、気づかない内に『介護疲れ』に陥る場合もあります。

『介護疲れ』によって介護をする方と受ける方が共倒れにならないよう工夫しながら無理なく続けていく事が大切です。

がんばりすぎていませんか？

- 自分の時間が持てず、楽しみがない
- 「自分が介護をしなければ」と感じる
- 疲れてどうしようもない

☆「自分がやらなければ」と責任感の強い方は『介護疲れ』に陥りやすい傾向にあります。自分の性格や生活環境を振り返り、「意識的に自分の時間を作る」「介護のサービス内容を再検討する」などしながら負担を減らす事が大切です。

介護についての不安や悩みは1人で抱え込まず、当センターへご相談ください。電話、訪問等ご希望に合わせてお受けしています。

在宅生活を支えるサービス

◆訪問介護(ホームヘルプサービス)

⇒自宅での食事、入浴、排せつなどの援助を受ける。

◆通所介護(デイサービス)

⇒送迎付きで通いながら、食事、入浴などのサービスを受ける。

◆短期入所生活介護(ショートステイ)

⇒旅行や冠婚葬祭で家を空ける場合など短期間、施設に入所し介護を受ける。(※医療的な処置が必要な方には介護者の負担を軽減するための「レスパイト入院」ができる場合もあります。)

主任ケアマネジャー
より

今年度の地域ケア会議報告

今年度の地域ケア会議は「コロナ禍で出来る地域の健康づくり」をテーマに多機関、多世代の連携を軸に実施しています。お散歩マップの作成から「地域支援の輪」に繋がっています。

○全体会：「令和2年度の取り組み報告」

令和3年8月に東深堀在宅福祉委員会・国立病院機構函館病院・有斗高等学校生徒が昨年取り組んだお散歩マップの作成経緯、健康づくりやボランティア部の活動展開について報告会を行いました。全体会には、町会や介護・医療従事者、教育機関行政などの方々、約80名にご参加頂きました。皆様から沢山の質問や「ぜひ自分の町会でも取り組みたい」との嬉しいご意見を頂戴し、**コロナ禍で出来る事**への関心の強さを実感しました。

○深堀町会：「多世代での地域の健康づくり」

深堀町会より「自分の町会でもお散歩マップを作って活用したい」との声を頂き、7月から深堀町会、深堀中学校生徒が中心となり何度も打ち合わせを重ねました。昨年活動した東深堀在宅福祉委員会と有斗高等学校生徒の協力もあり10月に「ぶらりふかぼり」が完成しました。マップを見て散策し「元気をもらった」の声もあり、今後も町会と中学校生徒で内容のバージョンアップを継続する事となりました。